

R1年8月23日

三田市議会議長

様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	盟政会	代表者	福田 秀章
		議員名	印
参加者氏名	白井和弥		
講演会等研修名	地方議会議員セミナー 議会広報クリニック in 京都		
研修事項	1. 広報紙づくりの基礎知識 2. 広報紙クリニック/評価ポイント 3. 広報紙クリニック/改善点の提案		
日 時	令和元年8月8日(木曜日) 14:00~令和元年8月8日(木曜日) 17:00		
場 所	京都テルサ東館2階「視聴覚研修室」 京都府京都市南区東九条下殿田町70		
所 見 (別紙でも可)			
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会広報クリニック ・ 追加資料(立川市議会) 		

添付書類(講演会内容のパンフレット等)

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

所見

議会広報誌を専門に見てきた講師のアドバイスは的を得たものが非常に多く、参考になる点が多々ありました。

- ・文章を書く際には切り口（視点）を持って作成すると真意が伝わりやすい。
- ・タイトルについては登場人物の「つぶやき」を引用すると、力まずイメージをつくりやすい。また読者に対する語り掛けも便利に使える。その他、数字自体をタイトルにしたり、企画を工夫することによって連動するタイトルをつけるのも面白い。議会主導の紙面づくりを考えると「議会が評価する3つの資料」の様にタイトルに「議会」を入れていく方が議会らしさをだせる。
- ・数字の見せ方で日本人に受け入れられやすいのは、25億2500万円や25億2,500万円の表記である。また10~20mよりも10m~20mが見やすい。
- ・文章を作る際、長い文章の中にいくつものセンテンスが混在している文章が意外と多い。一文ワンセンテンスのみについて書き、短い文章を心掛ける。その方がわかりやすい。文章量も少なくなる。100字を超えた文章は再考すべき。
- ・同系色を使ったり、色のトーンを調整すると紙面が整ってくる。2色刷りの場合は一か所だけに色を入れることで最初に目を引き付ける効果がある。また同じ色をグループごとに与えることによって識別記号として使うことができる。
- ・表紙にはコミュニケーション力がある。複数の写真が候補に挙がっても両方使うと打ち消しあうことが多い。思い切ってどちらかを捨てて方向性を合わせる事が大切。

つなぐに対する意見

- ・以前にもこの講師の講座を受講しており、2011年の「つなぐ」のリニューアルが記憶に残って頂いていた。ネットつなぐも評価を頂いている。ココアルもよい評価

一般質問・・・「福祉」や「教育」といったテーマをつけているので何の話をしているかがわかってよい。1ページ4人は短文化してわかりやすい。

定例会の結果・・・議会報告会をおこなった報告とその後の経過が記載されている。議会報告会での意見に対して議会がどのように動いたかを広報しているところがすごく良い。

政務活動費・・・ホームページにもリンクさせる方法を提案して頂いた。大枠だけを記載し、URLやQRコードを記載することで、提出した領収書等、詳しい内容を見る事ができる方法もある。広報誌の発行とホームページの整理の時間差については「〇月〇日以降の掲載となります」といった一文を入れることで対応可能。

視察報告・・・横方向にページいっぱい一文で書くと読んでいて疲れる。2段組みにした方がよい。

全体的を通して・・・ポイントを絞った編集だが、市民との対話のページがなくなったのが残念。

「つなぐ」については全体的に高評価でした。他市の広報紙と比べながら「つなぐ」を評価して頂けたことは良い経験でした。他紙の紙面構成でも参考になるものがあり、他市の担当者との交流も良い刺激を頂きました。この経験をこれからの紙面作りに活かしていきます。

議員・職員のための

議会のシティズンシップ教育と広報

～対話・参加・協働の人づくりまちづくり～

in 東京・京都



講師 吉村 潔

【エディター・広報アナリスト】

上場企業の広報を中心に大学広報、会誌などの制作に長年携わる。日本広報協会 広報アドバイザー。全国広報コンクール審査委員(広報紙部門・写真部門)、町村議会広報表彰審査委員。市町村アカデミー(行政広報・議会広報)講師。著書に「実践 広報紙づくり」「広報ハンドブック～メディアづくりのノウハウ～」等がある。「月刊広報」(日本広報協会)に「議会広報の改革はどこまで進んできたか」(2014年)、「動く議会 変わる広報」(2018年)を連載。「地方議会人」(中央文化社)で「市町村議会広報クリニック」を隔月担当。

7/18(木) 10:00~13:00 東京

8/8(木) 10:00~13:00 京都

議会のシティズンシップ教育と広報

1. 18歳選挙権と議会
2. シティズンシップ教育の多様な形
3. 学び・対話から参加・協働へ
4. 事例／児童と議会・親子議会
5. 事例／中学生と議会
6. 事例／高校生と議会
7. 事例／大学生と議会
8. インターンシップ、キャリア支援
9. 広報に若い世代の声を活かす
10. 若年世代とのコラボレーション
11. 若い世代の意見と政策形成
12. 新たな切り口を求めて

7/18(木) 14:00~17:00 東京

8/8(木) 14:00~17:00 京都

議会広報紙クリニック

1. 広報紙づくりの基礎知識
2. 広報紙クリニック／評価ポイント
3. 広報紙クリニック／改善点の提案

*クリニックを希望される場合は、「地方議会総合研究所」宛、早めに広報紙(2部)をご送付ください。